

スマイル ニュース

SMILE NEWS

187

男女共同参画推進委員会

言葉のちからと 男女共同参画



先日、山梨県立男女共同参画推進センターが主催する「男女共同参画ネットワーク基礎講座」に推進委員として参加しました。基調講演は「言葉のちからと男女共同参画」というテーマで行われました。講演の中で、言葉には「人に話しかけられて自信がつく言葉」だけでなく、逆に「やる気がなくなってしまう言葉（ずるい言葉）」がある、という話がありました。

例えば、「大学で数学か物理を学びたい」と希望する女子生徒に対し、「理系は女子が少ない、そのうち気が変わるのでは？」と、相手の選択をそれとなく否定し、変更するよう圧力をかけるような言葉。

また、生理痛がひどく苦しんでいる相手に対し、「なんだ、それならもっと早く言ってくればよかったのに」と、「早く言わなかったあなたが悪い」というメッセージが込められている言葉。

このように、自分の要求の押し付けが隠された「ずるい言葉」を無意識のうちに相手に投げかけてしまっていないでしょうか。「ずるい言葉」の背後には、女性差別などの問題があります。このような言葉を見逃さず、もし言われたときには「なるほど、あなたはそう思うんですね」という雰囲気醸し出す、「ふ～ん」から初めては？とのことでした。

男女共同参画を推進するということは、人々が自らの意思を十分に伝えられるように支援していくこと。そのために「ずるい言葉」ではなく、温かく思いやりのある（自信をつける）言葉を使うことが推進のスタートになるのではないかと感じた講座でした。

【問い合わせ】市男女共同参画推進委員会
(総務課総務担当内) ☎ 62-3117